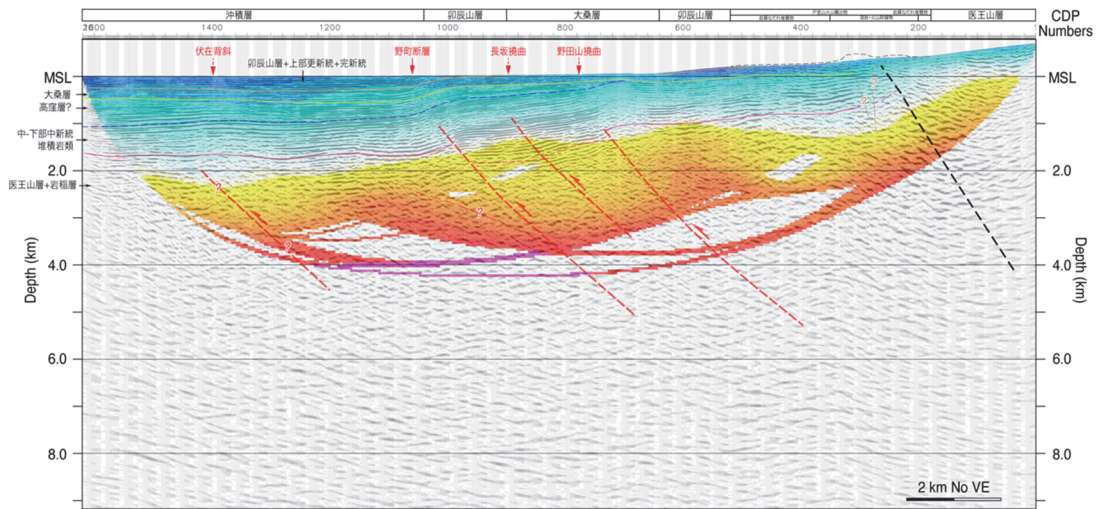
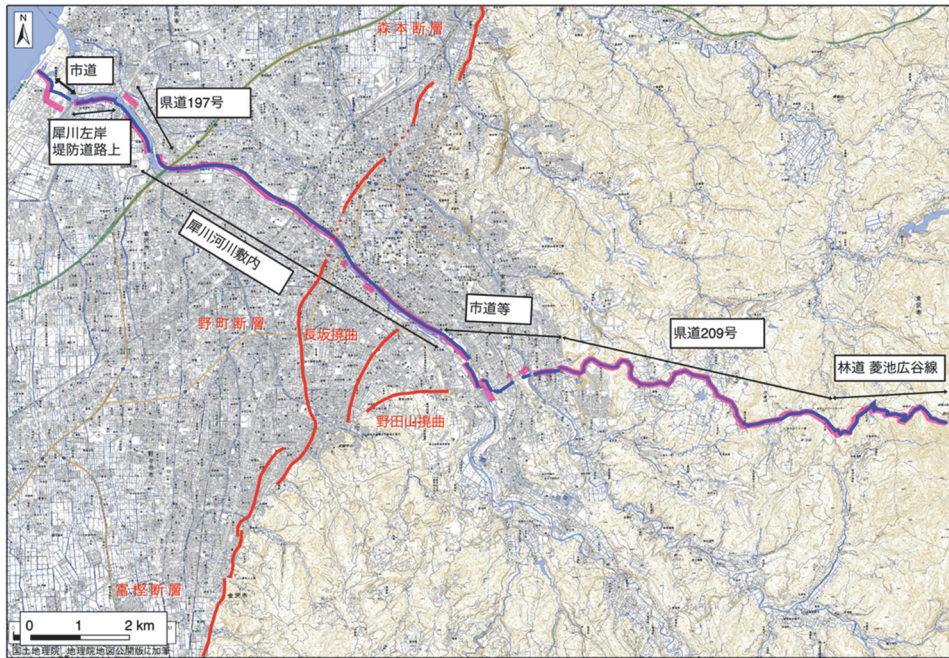


1. 1 活断層の詳細位置・形状・活動性解明のための調査



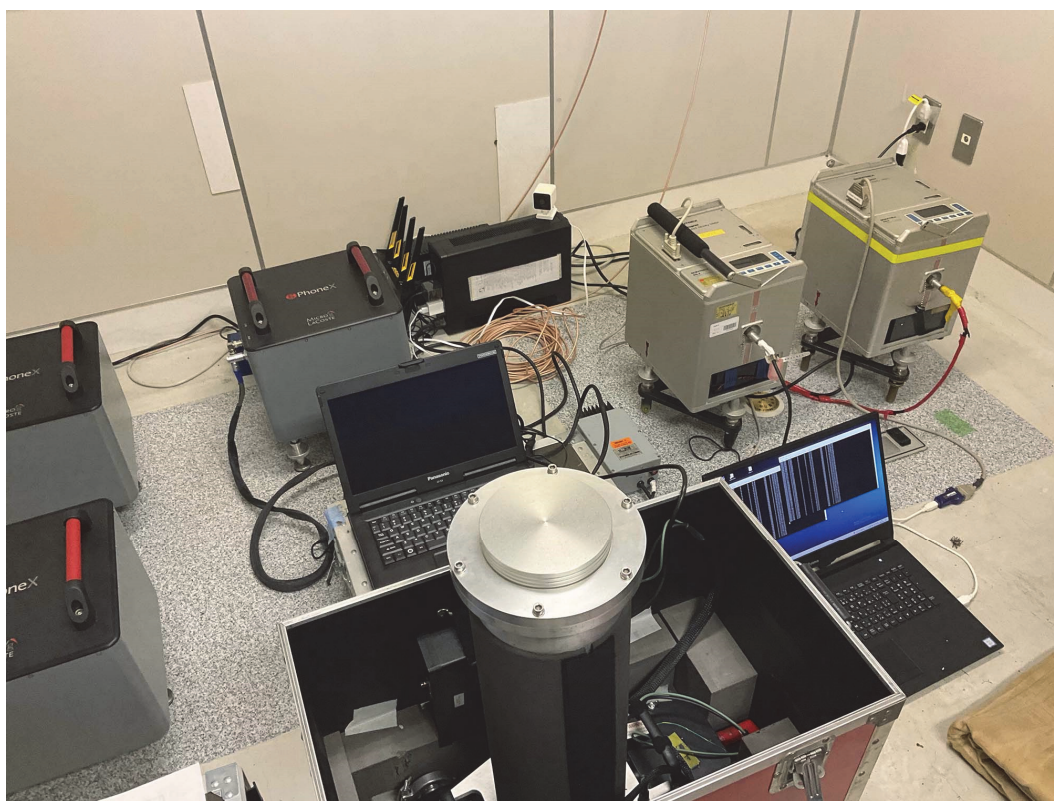
深部構造探査「犀川-医王山測線」による地下構造断面

断層帯中央部を横断する測線長約 24 km の反射法地震探査・屈折法地震探査を行い、野町断層・長坂撓曲・野田山撓曲の地下に存在する逆断層の形状や、金沢平野の地下に存在する背斜構造、第四系・新第三系堆積盆地構造・速度構造が明らかになった。

1. 2 重力探査に基づく地下構造調査

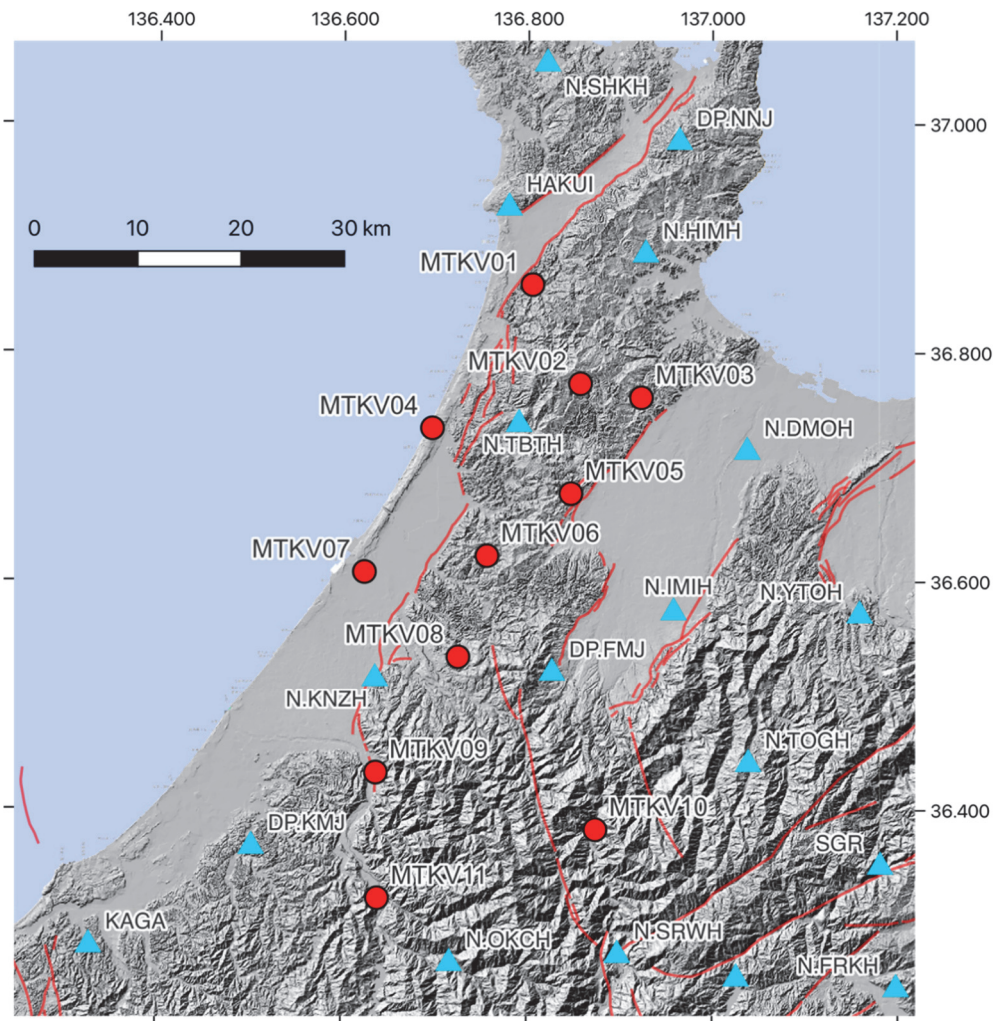


道の駅しらやまさんでの重力測定。後ろの山は獅子吼高原。



山梨県富士山科学研究所の基準重力点富士吉田（MFRI-E）での重力測定。右奥の重力計が金沢大学所有の Scintrex CG-3M 型重力計。

2 断層帯周辺の地殻活動の現状把握調査



本事業で構築した臨時高感度地震観測網（MTKV-net）の配置図

2022年9月に設置完了し、雪囲いを施し積雪期も観測を継続した。赤丸はMTKV-net観測点、水色三角は既往高感度地震観測点（Hi-net、気象庁、大学観測点）。基図は国土地理院の陰影起伏図、活断層線は産総研活断層DBによる。

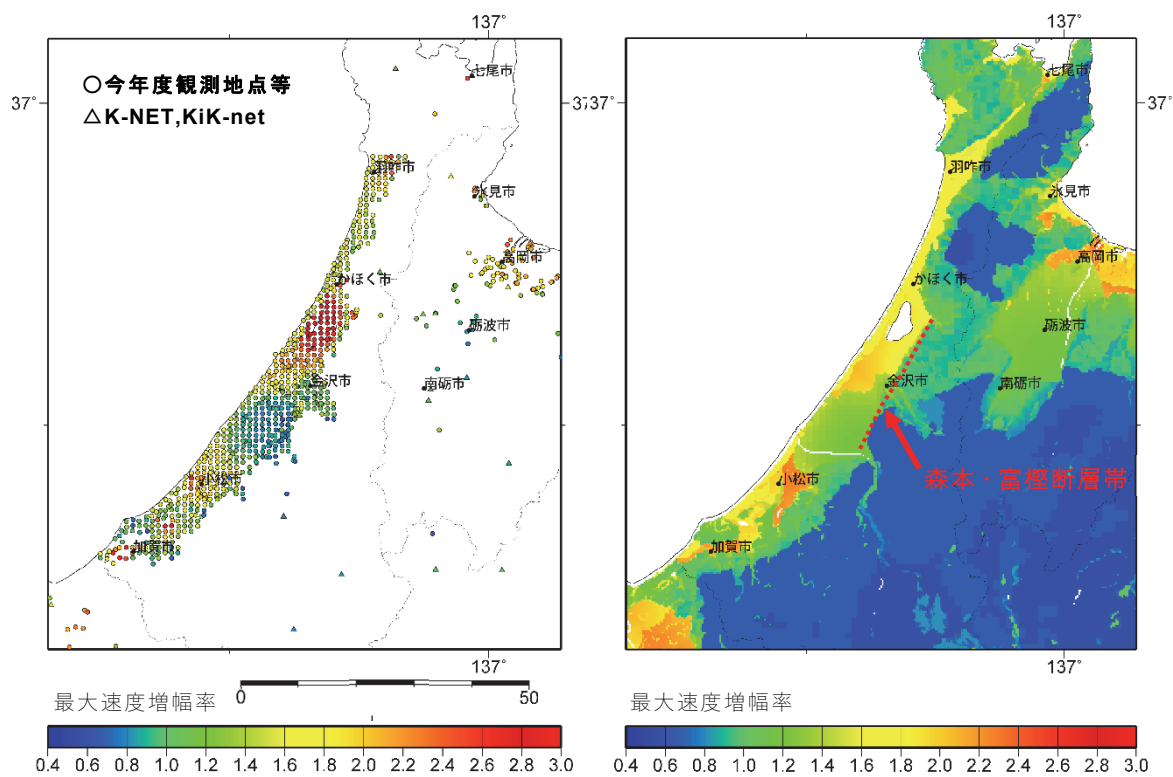


MTKV-net観測点（MTKV08：金沢市俵公民館観測点）の外観および積雪時の様子

3. 1 浅部地盤構造モデルの構築

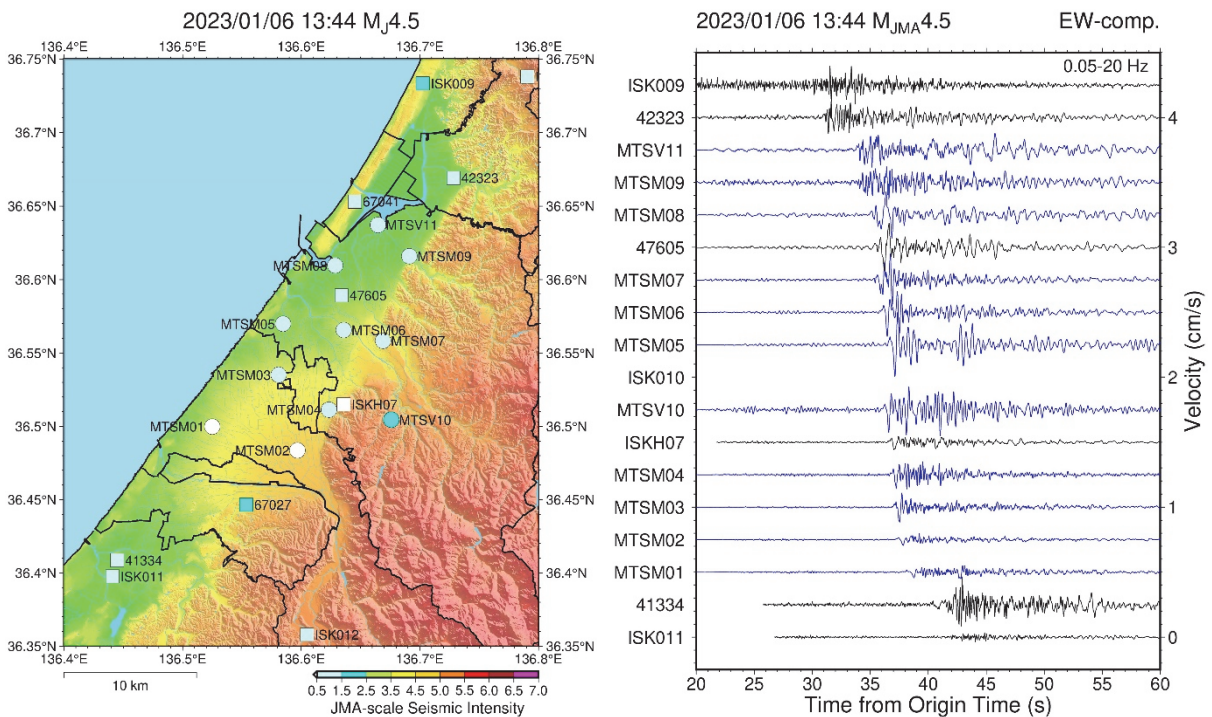
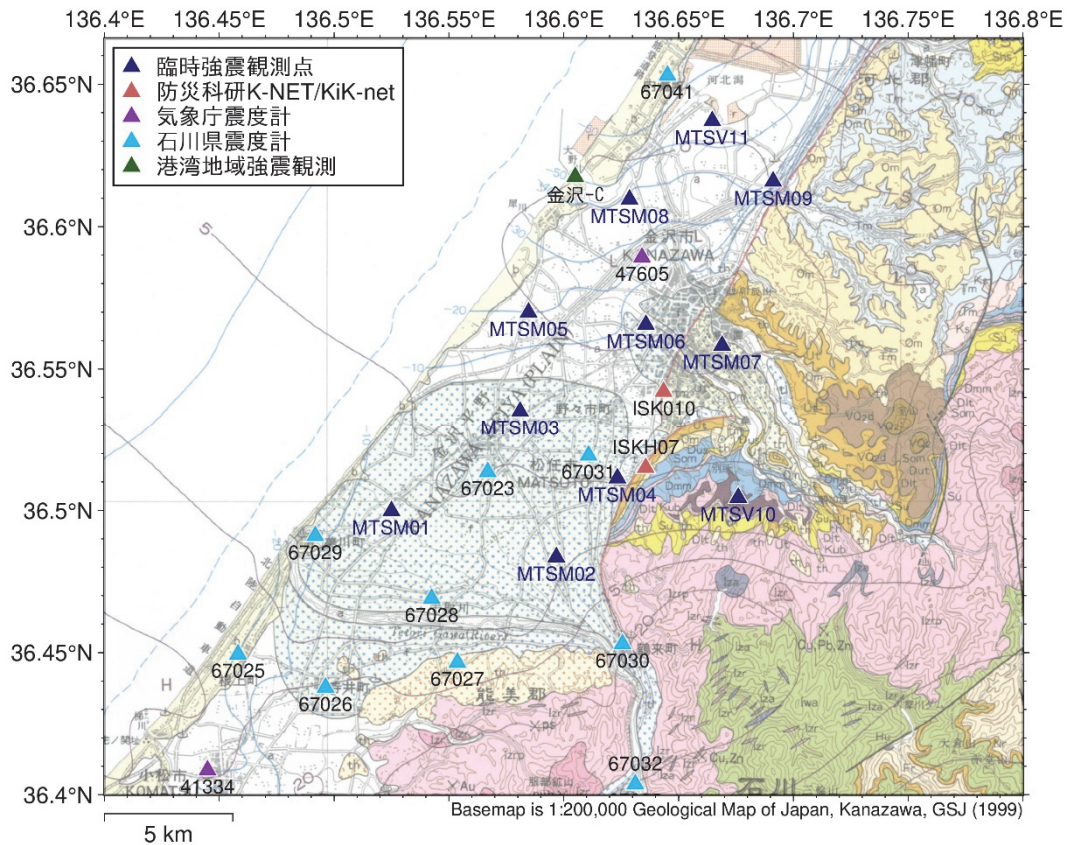


小アレイ探査風景（石川県金沢市、ISKM00517 地点）6 台の地震計（右側 4 台の極小アレイと左側 2 台で小アレイを構成）で同時に微動を観測し、位相速度を計算する。



小アレイ探査結果の AVS30 から計算される最大速度増幅率分布（左図）と J-SHIS の AVS30 から計算される最大速度増幅率分布（右図）（ V_s400 からの表層地盤増幅率）

3. 2 深部地盤構造モデルの構築と強震動予測



加賀平野における臨時地震観測

(上) 観測点配置の地図 (基図は 20 万分の 1 地質図幅「金沢」)。(下) 2023 年 1 月 6 日 13 時 44 分に能登半島で発生した地震 ($M_{JMA} 4.5$) の観測記録。左図が計測震度相当値、右図が速度波形の東西動成分である。

4 地域連携・地域の内在地震ハザード情報共有



対面形式で実施した地域勉強会

行政機関、ライフライン事業者、マスコミ等に呼びかけ、森本・富樫断層帯における重点的な調査観測の実施に関して情報共有を行った。